

# human

No 248

2012/12

医療を通じて人ととのふれあいを広めるために  
ヒューマン(人)と名付けました。



「第四回さくら総合病院市民公開講座」

救急指定・労災指定病院 **さくら総合病院**

愛知県丹羽郡大口町新宮1-129  
(0587) 95-6711(代)

老人保健施設 **さくら荘**

愛知県丹羽郡大口町新宮1-96  
(0587) 95-6722

訪問看護ステーション **あすかビレッジ**

愛知県丹羽郡大口町新宮1-10(太郎と花子内)  
(0587) 95-8623

ヘルパーステーション **あすかビレッジ**

愛知県丹羽郡大口町新宮1-10(太郎と花子内)  
(0587) 95-8026

居宅介護支援事業所 **あすかビレッジ**

愛知県丹羽郡大口町新宮1-10(太郎と花子内)  
(0587) 95-8027

デイケアセンター **御 獄**

愛知県丹羽郡大口町新宮1-129(さくら総合病院2F)  
(080) 5294-5728

有料老人ホーム **太郎と花子**

愛知県丹羽郡大口町新宮1-10  
(0587) 95-0111



<http://www.ijinkai.or.jp>

E-mail:info@ijinkai.or.jp

# 楽器の練習

さくら総合病院副院長 脳神経外科 秦 誠宏

私と音楽との出会いは、保育園の年長の時に入つたヤマハ音楽教室であつたと記憶している。好奇心だけは旺盛だった私は、親に「やるか」と聞かれた時に、喜んで「やる」と言った覚えがある。ヤマハ音楽教室では、エレクトーンを中

心に、太鼓、木琴、ピアノなど、色々な楽器に触れる機会があつた。しかし、好奇心が旺盛な反面、飽きっぽいところもあり、練習嫌いで、あまり上達はしなかつた。一応、小学校を卒業するくらいまで続けたので、楽譜のどこがド

れた。それが音楽を再開するきっかけであつた。文化系のクラブなら、全学のヨット部とも掛け持ちができるであろうと安易に考えた私は、綺麗な先輩に誘われたのもあつて、軽音楽部に入ることにした。軽音楽部は JAZZ の Big Band をやつていたので、大学に入つてからも続けようと思いつト部に入った。

大学のヨット部は全学(医学部だけでなく、他学部とも一緒に行う)であつたので、医学部の先輩と繋がりを持つために、医学部のクラブにも何か入りたいと考えていた。入学式のあと、綺麗な女性に声をかけられ、クラブに誘わ

れた。それが音楽を再開するきっかけであつた。文化系のクラブであります。さくら総合病院副院長 脳神経外科 秦 誠宏

の夕方しか練習ができなかつたが、定期演奏会の前などは集中して練習して、それなりに吹けるようになつた。軽音楽部も文化系のクラブであります。さくら総合病院副院長 脳神経外科 秦 誠宏

の音であるか位はわかるようになつた。

中学、高校は運動部に入つていたので、自分で音楽をする機会はなかつた。高校時代はヨットをやつていたので、大学に入つてからも続けようと思いつト部に入った。

トロンボーンをやることになつた。トロンボーンは金管楽器で、口の形と管をスライドさせることで音の高さを調整する。初めはなかなか音が出なかつたが、音が出るようになると、結構面白い。ヨット部はトロンボーンは大きくて持ち運びが大変なので、小さい楽器にしようと思ったのである。コルネットはトロンボーンよりも1

大学のヨット部は全学(医学部だけでなく、他学部とも一緒に行う)であつたので、医学部の先輩と繋がりを持つために、医学部のクラブにも何か入りたいと考えていた。入学式のあと、綺麗な女性に声をかけられ、クラブに誘わ

オクターブ高く、トランペットと同じ音域であるが、トランペットよりもやや柔らかい音で、トロンボーンに近い音色の印象を持っている。(これは私見なので、間違っていたらすみません。)理論的にはトロンボーンと同じ音の出し方であるが、マウスピース(口に当てる部分)はトロンボーンよりも小さく、唇の隙間から空気を通す部分も狭くなる。買ってからしばらくはやはり面白くて、自己流に練習して、好きなように吹いていたが、仕事も忙しく、なかなか練習ができなくなり、いつの間にかケースに入つたまま、押し入れの肥やしとなつていた。結婚してしばらくしてから、ある日、妻が、黒いケースを見付け、

「これ、何?」と持ってきた。妻も中学時代にトロンボーンを吹いていたことは以前に聞いていたのだが、その時に私も楽器をやっていたことを話したつもり(私の記憶では)であつた。しかし、妻は「そんなことは聞いていない、それなら私も楽器をまたやりたい」ということで、妻用にトロンボーンを購入した。妻はそのトロンボーンを持つて、名古屋のママさんプラスバンドに参加し、毎週練習に行つて、そのブラスバンドで、一時トランペッターパートの人数が少なかつたため、私もコルネットで参加することになった。久しぶりに吹いても音がうまく出ないので、仕事が終わつた後、夜中にミューント(音を小さくする機械)を

つけて、練習した。練習時間が短いので、なかなか上達しないが、音楽を自分でやるのはやはり楽しい。運動でも同じであるが、音楽も基礎練習や、体力・筋力訓練は必要である。金管楽器は口をイの形にして、唇の先から空気を乐器に送り込み、唇を振動させて音を出す。口をイの形にするには笑筋といふほつぺたの筋肉に力を入れる必要がある。高い音を出すには唇をできるだけ薄くしなければいけないし、長く演奏するには持久力をつけなければいけない。そのためには笑筋を鍛える必要がある。楽器を直接吹く時間が少ないのに、この笑筋を鍛えるため、時間がある時に口の訓練をしている。電子力

ルテを書きながら、病棟を移動しながら。また、夕ギングと言つて、音を切る時には舌を使う。舌を早く動かすように、口の中で“tu-tu-tu-tu-tu”とやつている。脳卒中の患者さんが、言語聴覚士と一緒に口の訓練をしているのを見ると、似ているなと思う。患者さんは治療の一部として口の訓練をしているのであるが、医者が電子カルテに向かいながら口をイーとしたりしているのは、傍から見て変な光景であろう。もし、私が病棟や外来で、口やほっぺたを不自然に動かしているのをみかけても、楽器の練習をしているのだと思つて、暖かく見守つて下さ

**岐阜の向こう「滋賀」****名古屋大学医学部附属病院  
小児外科 坂口 大俊**

10月から月曜と木曜の小児科外来を担当させてもらっています。院内誌への寄稿を依頼され、テーマを伺ったところ、何でもよいとお返事いただき、さて、何を書こうかと悩みました。そこで、私は滋賀県出身ですので、愛知尾張の人々にとっては近くて遠い、岐阜の向こう「滋賀」のことを知っていたらうと思いつ立、今回、筆を起きました。

滋賀というと、琵琶湖が真ん中にででんとあって、その周囲の狭い平地に人が辛うじて住んでいるというイメージがあると思います。しかし、それはかなり誇張で、実は、琵琶湖は面積の6分の1を占めるに過ぎません。案外、陸地は広いのです。といっても、やはり陸地の半分くらいは山地が占めます。西から反時計回りに、比良山地、湖南アルプス、鈴鹿山脈、伊吹山地と山々に囲まれています。結局、琵琶湖と山に囲まれた平地の可住面積は大阪より狭いらしいです。

そんな可住面積の狭い滋賀ですが、ご存じ尾張の英雄・織田信長が造った安土城を初め、小谷城、長浜城、坂本城、佐和山城、彦根城と、京都と東海北陸を結ぶ交通の要衝だけあって、戦国～安土桃山時代の名城の城跡が数多く残っています。天守閣が残っているのは彦根城と長浜城だけですが、安土山の麓にある博物館には安土城天守の最上部2層が原寸大に再現されており、歴史好きや信長好きの人は必見です。

歴史とロマンあふれる滋賀ですが、今の滋賀も自然豊かで、お勧めの場所はたくさんあります。中でも一番のお勧めは、奥琵琶湖です。奥琵琶湖は琵琶湖の一番北側で、南側より水深も深く(最深部は100mを超える!)、風のない日はとても静かな湖面が楽しめます。また、春には奥琵琶湖湖岸は桜で満たされ、日本人であることの喜びが噛みしめられます。

琵琶湖の南側も勿論素敵です。瀬田から草津あたりの湖岸道路を夕方ドライブすると、夕日に照らされ輝く湖面と赤い空に逆光で黒く切り抜かれて見える比叡山の山影が一際美しく見えます。

あっという間に予定の字数に達しました。読み返すと結局、琵琶湖のことばかりで、矛盾を感じますが、車でも電車でも滋賀は直ぐに行けますので、是非一度、滋賀に足を伸ばして、滋賀の良さを見つけてみてください。

**血管撮影装置について****放射線部 吉田 敦**

今年もいよいよ残りわずかとなり、寒さがひとしお身にしみるころとなりました。冬は寒いため血圧が上がりやすくなり、少し注意が必要な季節です。なぜかというと、体の熱が逃げないように、血管が収縮して細くなります。すると、血管の断面積が小さくなり、血液を送るために大きな力(血圧)が必要となるからです。また、運動不足や忘年会など飲酒の機会が増えることも、血圧を上げる要因となります。その結果、脳卒中や心筋梗塞を起こす危険性が高くなります。これらの病気になってしまった場合、血管撮影という検査をすることがあります。血管撮影とは、カテーテルと呼ばれる細い管を血管に挿入しカテーテルから造影剤を注入して血管を写す検査です。カテーテルを目的部位の近くまで進める

ことによって、より詳しく血管の像を写すことができます。カテーテルを血管内に挿入する際は皮膚を小さく切るだけで済むので、外科的手術のように皮膚を大きく切る場合に比べて、身体への負担は少なく済ませることができます。

この血管撮影装置を9月に最新鋭に更新しました。従来の装置と比べて、少ない被曝でとてもきれいな画像が撮影できるようになりました。また、撮影できる画像の範囲が広くなり多くの情報を得ることができ、新しい機能も増え高度な画像診断ができるようになりました。実際はこの装置を使い、出血している血管を探して止めたり、狭くなった血管を風船で広げたり、癌細胞に薬を注入したりしています。

その他では、当院でも不整脈の治療(アブレーション)も行うようになりました。アブレーションとは、心臓内部の不整脈の原因となっている部分を小さく電流で焼き切るというものです。これまで薬で対処するしかなかった不整脈を治療することができるようになりました。

このように血管撮影装置を用いて色々な検査・治療をしています。何か質問などありましたら気軽に声を掛けてください。寒いこの時期を健康に過ごしていきましょう。

## 第20回 「健康を守る教室」

テ　ー　マ：『認知症について』&セラバンドを使用した体操

日　　時：平成24年12月21日 土曜日 13:00～14:00(受付12:30～)

場　　所：新館1F

講　　師：作業療法士 倉知 理学療法士 磯村

参　加　料：無料

お問い合わせ：受付窓口もしくは医療連携室

Tel 0587-95-0015



現代において、高齢化は増加の一途をたどっています。近年、認知症と言う言葉をよく耳にしますが、どんな状態をいうのでしょうか？

「認知症の人って何を考えているの？」「どうしてあんな行動をとるの？」

「どのように接すればいいの？」

皆さんの疑問を少しでも解決できるように、簡単なゲームもふまえてお話しさせて頂きます。

※健康を守る教室の体操コーナーでおなじみのセラバンドを健康教室終了後に下記価格で販売をいたします。

ご希望の方はお申し出下さい。 黄色(弱)400円 緑色(中)460円 青色(強)520円

**診 療 科 表**

平成24年12月1日現在

		午 前 9:00~12:00						午 後 5:00~7:30													
		消化器病 外傷 センター	循環器 呼吸器 センター	運動器 形成 センター	脳卒中 糖尿病 感染症 センター	神経 脊椎 脊髄 センター	ストレス 外来	こども 女性疾患 クリニック センター	ペイン 皮膚疾患 センター	耳・鼻・咽・尿路 喉疾患 疾患 センター	眼の 疾患 センター	消化器病 外傷 センター	循環器 呼吸器 センター	運動器 形成 センター	脳卒中 糖尿病 感染症 センター	神経 脊椎 脊髄 センター	ストレス 外来	こども 女性疾患 クリニック センター	ペイン 皮膚疾患 センター	耳・鼻・咽・尿路 喉疾患 疾患 センター	眼の 疾患 センター
月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
								○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
									○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
										○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
											○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
												○	○	○	○	○	○	○	○	○	
													○	○	○	○	○	○	○	○	
														○	○	○	○	○	○	○	
															○	○	○	○	○	○	
																○	○	○	○	○	
																	○	○	○	○	
																		○	○	○	
																			○	○	
																				○	

※1 休診日あり ※2 祝日診療あり(9:00~11:00)

● 診療時間は、診察科目により異なります

ご不明な点がある場合は、職員にご確認ください

● 診療日が変更になる場合があります ご了承ください

機関紙 発行 医療法人 医仁会 電話 0587(95)6711(代)  
 human ヒューマン さくら総合病院 発行年月日 2012年12月1日  
 No.248 発行部数 350部